

XML Gateway へのポリシー導入

ここまでは運用中のポリシー（ACE XML Manager 上で作成中のポリシー）の修正を行ってきました。このポリシーをネットワーク トラフィックに適用させるには、ACE XML Gateway に導入する必要があります。

ポリシー導入は、次のような複数の段階を経て行われます。

- XML Manager が現行のポリシーと提案されたポリシーの間を比較して、その違いを表示する。
- ユーザがポリシーの変更内容を承認すると、Manager がそのポリシーをコンパイルする。
- コンパイルされたポリシーが ACE XML Gateway に転送される。

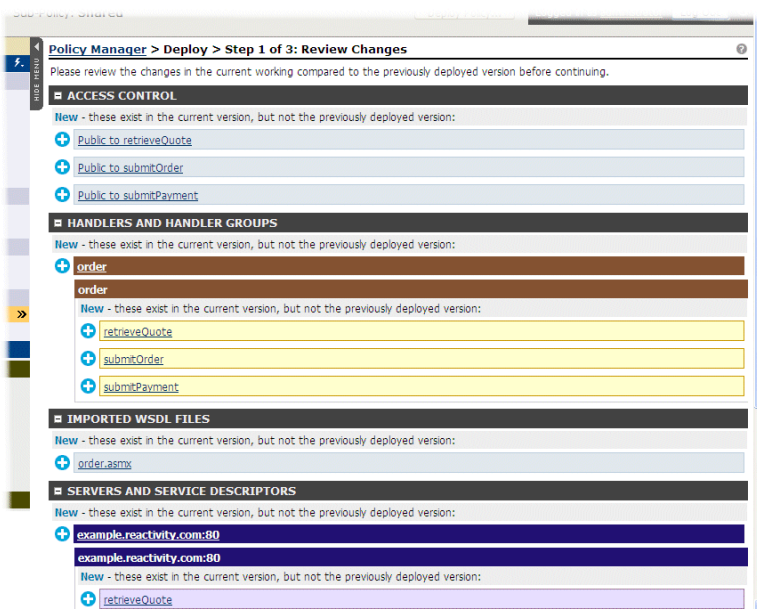
ポリシーを導入する手順

ポリシーを導入する方法は次のとおりです。

1. ACE XML Manager Web コンソール最上部の **[Deploy Policy]** ボタンをクリックします。

最初の導入ページが新旧ポリシー間の変更点を表示します。この例では、WSDL 文書のインポートにより追加されたオブジェクトが変更点です。

図 9-1 導入手順 1/3 — 変更点の確認



2. ページ最下部にスクロールして **[Continue to Next Step]** をクリックします。
Step 2 of 3, Basic Policy Review ページが表示されます。このページは導入するポリシー内の警告とエラーを示しています。ログ設定については、パフォーマンスに関する警告を表していることに注意してください。メッセージ本文のログ作成はパフォーマンスに影響するため、実稼働のシステムでは推奨しません。
3. **[Continue to next step]** をクリックします。
Compile and Deploy ページが表示されます。このページは、その XML Manager が属す管理用ドメインに存在する ACE XML Gateway を示しています。ポリシーは特定の XML Gateway（複数可）を選んで導入することができます。一般的には、すべての XML Gateway で同じバージョンのポリシーを持たせるべきです。
Out of date というステータスは、ACE XML Gateway 上のポリシーがコンパイルしたポリシーと相違していることを示します。
4. **[Policy Description]** 欄にポリシーの説明を入力します（「WSDL 文書からインポートした発注サービス」など）。
デフォルトでは、ポリシーについての説明入力は任意です。一般的には、ポリシーバージョンの説明を加えることを推奨します。後日、ロールバックやポリシーの比較が必要になった場合に役立ちます。
5. **[Deploy to Selected Gateways]** をクリックして、コンパイルしたポリシーを ACE XML Gateway に導入します。

少し待つと、導入ページが再表示されます。再表示後は、ACE XML Gateway のステータスは **Up to date** となっています。

ポリシーの管理

ポリシーを導入すると、導入したバージョンが Policy Manager のポリシーバージョン履歴に記録されます。ACE XML Manager には多数の管理用ポリシーが用意されています。たとえば、ポリシーのバックアップ機能（さきほど導入したポリシーを含む）、以前のバージョンのポリシーへのロールバック（復元）機能、ポリシーのバージョン比較などが含まれています。

Policy Manager にアクセスするには、操作メニューの **[Policy]** エリアにある **[Policy Manager]** リンクをクリックします。

図 9-2 Policy Manager



このページ最下部のポリシーバージョン履歴では、さきほど導入したポリシーを含む、複数のバージョンが表示されます。

Policy Manager では、次の作業を行うことができます。

- 以前のバージョンのポリシーの表示、または復元。ロールバックを行うと、XML Manager 内で運用中の現行ポリシーが、前回 ACE XML Gateway に導入したものに置き換わります。ポリシーのロールバックを行ったあとは、そのバージョンを ACE XML Gateway へ伝達するためにそのポリシーの導入が必要になります。以前のバージョンのポリシーにロールバックするには、ポリシー履歴リストの中の **[Roll Back]** ボタンをクリックします。
- ポリシーのファイルへのエクスポート。別のシステム環境（たとえば開発環境から運用環境）へのポリシーの移動、バックアップ作成、サブポリシー間でのオブジェクトの移動などに便利な機能です。また、サポート担当者とのポリシーを交換することが可能になるため、トラブルシューティングにも利用できます。
- **[Save to History]** は現在運用中のポリシーの複製を作成します。この複製はポリシー履歴リストに表示されます。ポリシーバージョンは、ポリシーを導入した際にも自動的に記録されることに注意してください。
- 現行ポリシーと ACE XML Gateway に導入されたポリシー間、または 2 つのバージョン間での差異を調べるための **ポリシー間の比較**。
- **ポリシーのリセット** による初期状態への復帰。Policy Manager の **[Reset Policy]** ボタンをクリックすると、インストール後に行われたポリシーへのあらゆる変更を取り消します。システムの学習に便利な機能です。ロールバックと同様に、ACE XML Gateway でリセットしたポリシーを有効にするには、そのポリシーの導入が必要です。

